

令和2年8月17日

地球規模保健課題解決推進のための研究事業
日米医学協力計画の若手・女性育成のための日米共同研究公募に係る
事後評価コメント

研究開発課題名 Molecular characterization of interferon-resistant
HIV-1 using novel imaging techniques
研究開発機関名 大阪大学
研究開発代表者名 塩田 達雄

指摘事項

● 評価できる点

HIV-1 のインターフェロン(IFN)抵抗性のメカニズムを明らかにし、2 報の論文発表を出している。また、日米の女性・若手研究者を主体として人材育成や交流活動に取り組み、共同研究体制を着実に構築したことは評価できる。

● 疑問点、改善すべき点

今後のビジョンを検討し、インターフェロン等の自然免疫を回避する機構解明を疾病対策手法に繋げることが望まれる。また、研究成果で示された IFN 抵抗性の HIV が実臨床でどの程度存在しているのか、感染者体内における動態や病的意義等に関する検討が期待される。

以上